

日南町森林組合創立50周年記念式典が行われました

平成24年11月16日、日南庁舎内交流ホールにて日南町森林組合創立50周年式典が行われました。昭和38年に日南町内の森林組合が統合されてから今年で50周年となりことを記念しての催しです。

式では現組合長挨拶に続き、前組合長 入澤宏様への感謝状贈呈と組合功労者の表彰式が行われました。鳥取県副知事 林昭男様からは祝辞と共に、特別講演として「とっとりグリーンウェイブの展開と森林・林業の成長産業化」のお話を頂きました。森林林業を取り巻く環境が大きく変化する現在ですが、森林組合は日南の林業の発展の為に力を尽くしてまいります。



日南町産素材加工の現場から(株)オロチ

今期は、(株)オロチ本格稼働5年目となり、「経営改善アクションプラン」の初年度となる節目の年でもありました。アベノミクス効果により、経済に様々な動きが見られる中、「経済改善アクションプラン」に基づき、LVL製品歩留りの向上を最優先課題として取り組み、24時間体制での工場稼働による生産性向上・コスト削減等の取り組みを行いました。昨年9月にJAS認定取得した乱尺単板幅はぎ方式への変更を行い、原木歩留り向上に精力的に取り組んだ結果、約10%の改善を達成することができました。また、今年1月より日南町より支援を行った原木価格安定対策事業による助成金もあり、売上原価につきましても対前期比90.4%と7,500万円の削減をすることが出来ました。事業の経過及び成果につきましては、LVL製品の出荷量が前年対比10%増え、販売金額も前年対比12%増えています。主な出荷地域としましては、関東が40%を占めており、中四国33%、関西20%、中部では7%という結果となり、中国地方のみならず広範囲へ販路が広がっております。



木質バイオマスエネルギーを利用した モデル地域づくり研究 ESCO事業の視察検討会を行いました

日南町では、豊富な森林資源を活かした木質バイオマスエネルギーを利用したモデル地域づくりを目指し、協議会を設置して検討を重ねています。

前回お知らせの通り、地域にエネルギー供給会社を立ち上げ、町より産出される木質チップによりボイラーを動かすことで化石燃料の消費を減らし、また森林の有効活用と地域活性化を目指したものです。

この12月、同ESCO事業の先進地であるオーストリアよりアイグナー社の技術者派遣をうけ、町内関係者とともに既存施設・設備の視察を行い、導入見込みや、技術的課題についての検討が行われました。

今回の視察検討会の内容をうけて、具体的な導入施設の選定と、事業内容についての具体的な検討が行われることとなります。

